

平成24年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)  
 (対象：平成18年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)	
	再評価時点	河川総合開発事業 井手口川ダム	・洪水調節 ダム地点において計画高水流量100m <sup>3</sup> /sのうち75m <sup>3</sup> /sの洪水調節を行う。 ・流水の正常な機能の維持 ダム下流の既得用水の補給及び河川環境の保全を図る。 ・水道用水の供給 伊万里市への水道用水として、ダム地点で4,000m <sup>3</sup> /日の取水を可能にする。	全体事業費：171億円 事業期間：H1~H23 総貯水容量：2,180千m <sup>3</sup> 形式：重力式コンクリートダム 堤高：43.7m 堤頂長：235.0m 堤体積：146,000m <sup>3</sup>	用地買収及び付替道路工事中 H17年度末進捗率 18.3% H17年度末現在 用地買収率 94.5% 付替道路進捗率 13.2%	過去の災害実績 S51年洪水： 浸水家屋 132戸 浸水農地 96ha H2年洪水： 浸水家屋 123戸 浸水農地 65ha 事業採択時から大きな変化はない。 水需要の拡大 伊万里市では、平成6年の異常渇水の教訓から、何時枯れるか分からない地下水を水源とする簡易水道の一部を将来においても安定供給が図れるダムに依存する計画である。 (伊万里市：上水道4,000m <sup>3</sup> /日開発)	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 1.50	コスト削減については、国・県で策定された公共事業コスト削減案に基づき、事業実施と合わせ随時調査・検討を加えてコスト削減を実施することとしている。 代替え案 ダム案と河道改修案を比較した場合、約1.4倍程度、河川改修案が高価となった。	事業採択後 10年経過	継続	
	現時点	河川総合開発事業 井手口川ダム			全体事業費：138億円 事業期間：H1~H24 総貯水容量：2,180千m <sup>3</sup> 形式：重力式コンクリートダム 堤高：43.7m 堤頂長：235.0m 堤体積：120,600m <sup>3</sup>	ダム本体工事及びダム本体関連工事はすべて完了し、地すべり対策工及び付替市道、周辺環境整備工事が残っている。 H23年度末現在 用地買収率 99.3% 付替道路進捗率 92% 付替県道 100% 付替市道 83%	事業採択時から大きな変化はない。 H23末、ダム直下に浄水場施設が完成している。	コスト削減により全体事業費を抑えることができた。 (現在) B/C = 1.55	コスト削減については、新技術及び新工法等を活用し、削減を図る事ができた。 (約33億円)	再評価実施後 5年経過	洪水のたびに氾濫する被害の解消を望む地元の期待は高く、度重なる渇水による河川環境の悪化、農作物の被害の軽減を図るため、「継続」が妥当である。
	理由等				実績に合わせ全体事業費、事業期間、堤体積を変更した。	事業最終予定年度(H23)に地すべりの兆候が確認され、対策工が必要になったことにより事業期間を延伸した。					